

第1号様式（第1条関係）

(表)

福島県奨学生願書		※受付番号								
		※法定番号	高・大第 号							
		ふりがな								性別
		氏名								
		生年月日	年 月 日(満 歳)							
在学 学校	立	本籍								
	部 科 学年	現住所	電話番号 ()							
同上の 所在地		希望事項	貸与月額		円					
			貸与期間		年 月から 年 月まで					
		大学等入学一時金		円						
家 族 の 状 況	氏名 <small>(生計維持者と別居している者には×印をつけること。)</small>	続柄	年齢	職業	勤務先 又は 在学先	疾病の有無	収入(税込) 金額 千円	所得(税込) 金額 千円	※	
	1	本人								
	2									
	3									
	4									
	5									
	6									
	7									
	8									
	9									
	10									
計 名										
連 帯 保 証 人	ふりがな				保 証 人	ふりがな				
	氏名					氏名				
	生年月日	年 月 日(満 歳)				生年月日	年 月 日(満 歳)			
	本人との続柄	年間収入(税込)	千円			本人との続柄	年間収入(税込)	千円		
	本籍					本籍				
現住所	電話番号 ()			現住所	電話番号 ()					

裏面の記載上の注意を読んでから記入してください。

(裏)

参 考 事 項	奨学金を希望する理由					
	現在受けている、又はこれから受けようとする他の修学のための資金	有・無	修学のための資金の名称		資金の種類	
					貸与・給付	
					貸与・給付	
					貸与・給付	
	本人の履歴	年 月 日	履 歴			
		年 月 日	立 中学校入学			
		年 月 日				
		年 月 日				
		年 月 日				
年 月 日						
年 月 日						
年 月 日						
1 カ月当たりの平均学費 (収入＝支出)	収 入		支 出		備 考	
	家 庭 か ら	円	生 活 費	円		
	アルバイト等から	円	交 通 費	円		
	県奨学資金から	円	学 校 納 付 金	円		
	そ の 他 か ら	円	書 籍 ・ 学 用 品	円		
			そ の 他	円		
	計	円	計	円		
以上の記載事項に相違ありません。 奨学生として採用された場合は、福島県奨学資金貸与条例その他の関係規程の規定を守り奨学生としての責務をはたすことはもとより、奨学資金の返還についても誠実にその義務を履行します。 上記のとおり保証人と連署して誓約します。 年 月 日 福島県教育委員会教育長 申 請 者 (自 筆) , 連 帯 保 証 人 (自 筆) , 保 証 人 (自 筆) ,						

記載上の注意

- (1) 「※」印の欄は、記入しないでください。
- (2) 連帯保証人とは、福島県奨学資金貸与条例第5条第2項に規定する者をいう。
- (3) 現在受けている、又はこれから受けようとする他の修学のための資金が有る場合は「修学のための資金の名称」の欄に当該資金の名称を記入し、「資金の種類」の欄の該当する種類を○で囲んでください。
- (4) 「本人の履歴」の欄には、中学校入学以来の学歴、職歴等について記入し、休学、転学、退学等の身分の異動については、理由を付して記入してください。
- (5) 「1カ月当たりの平均学費」の欄には、在學生にあつては直近の1カ月当たりの平均学費を、新入生にあつては入学後の1カ月当たりの見込額を記入してください。なお、自宅通学者にあつては、生活費の記入を要しません。

今年度貸与または申請中の奨学金名を記入して、奨学金の種類を○で囲んでください。
※「高校生等奨学給付金」は記入不要。

中学校入学から現在までの状況を記入してください。

記入日を忘れずに

例) 東日本大震災で自宅が全壊したことにより、家計の支出が著しく増大したため。
東日本大震災で自宅及び父の勤務先が原発事故の警戒区域となり、父が失業。現在は〇〇市に家族で避難しているが、家計が苦しいため。

奨学金を希望する理由	現在受けている、又はこれから受けようとする奨学金の種類	修学のための資金の名称		奨学金の種類		
		有	無	貸与	給付	
		〇〇市奨学金(申請中)		貸与	給付	
				貸与	給付	
		年月日	履	歴		
		H26年4月〇日	〇〇市立	〇〇中学校入学		
		H28年9月〇日	□□市立	□□中学校転学		
		H29年3月〇日	□□市立	□□中学校卒業		
		H29年4月〇日	△△県立	△△高等学校入学		
		年月日				
		年月日				
		年月日				
参考事項	本人の履歴	収入		支出		備考
		取	入	支	出	
	1カ月当たりの平均学費(収入=支出)	家庭から	5,000円	生活費		
		アルバイト等から		交通費	8,700円	
		県奨学金から	18,000円	学納付金	9,300円	
		その他から		書籍・学用品	5,000円	
		計	23,000円	計	23,000円	

以上の記載事項に相違ありません。奨学生として採用された場合は、福島県奨学生としてその責務をはたすこととはもとより、奨学生としての責務をはたすこととはより、上記のとおり保証人と連署して誓約します。

「収入計」=「支出計」としてしてください。

以上の記載事項を守り、この義務を履

29年〇月〇日
福島県教育委員会教育長

申請者 (自筆) 福島 太郎 (印)
連帯保証人 (自筆) 福島 大介 (印)
保証人 (自筆) (印)

東日本大震災で被災した状況と現在の家計状況を簡潔に記入してください。

入学金は除く。

①必ず自筆で署名。
②申請者(生徒)と連帯保証人は、別々の印鑑で押印してください。(印影が不鮮明な場合は、余白に押し直し)

福島県奨学生推薦調書													
氏名		在学 学校		立							部 制	科	年
出身（在学） 学校の成績	教 科												
	年												
	年												
	教 科												成 績 平均値
	年												
	年												
推 薦 所 見 〔 学 力 〕 〔 人 物 〕 〔 家 庭 状 況 〕													
参 考 事 項		(在学学校の学業成績の席次 人中 位)											
<p>上記の者は、人物及び学術ともに優秀であるが、著しく学費の支弁が困難であり、奨学生として適当と認められますので、推薦します。</p> <p>年 月 日</p> <p style="text-align: right;">学校長（学長） 印</p> <p>福島県教育委員会教育長</p>													
※ 判 定													

記載上の注意

- (1) 「※」印の欄は、記入しないでください。
- (2) この調書は、被推薦者の在学する学校等で記入押印してください。
- (3) 「出身（在学）学校の成績」の欄については、当該欄の記載事項と同様の成績証明書等を添付する場合には、記入を要しません。

在学する学校で作成してください

記入もれ注意。
全日制/定時制/通信制の記入
 もお願いいたします。

「推薦所見」の欄は、申請者の学力、人物、家庭状況等の観点から記入してください。

「参考事項」の欄は、特になければ無記入で結構です。

日付、学校名、校長名の記入と職印の押印を、忘れずにお願いたします。

福島県奨学生推薦調書									
氏名	福島 太郎			在学学校	部	制	年	科	1年
出身（在学）	国語	数学	理科	社会	英語	音楽	美術	技術家庭	保健体育
学校の成績	年	年	年	年	年	年	年	年	年
推薦所見	学力 人物 家庭状況								
参考事項	上記の者は、人物及び学術ともに優秀であるが、著しく学費の支弁が困難であり、奨学生として適当と認められませんので、推薦します。 平成〇〇年 〇月 〇日 △▽県立 ▲▽▲高等学校 学校長（学長） 福島県教育委員会教育長								
※ 判定	上記の者は、人物及び学術ともに優秀であるが、著しく学費の支弁が困難であり、奨学生として適当と認められませんので、推薦します。 平成〇〇年 〇月 〇日 △▽県立 ▲▽▲高等学校 学校長（学長） 福島県教育委員会教育長								

記載上の注意

- (1) 「※」印の欄は、記入しないでください。
- (2) この調書は、被推薦者の在学する学校等で記入押印してください。
- (3) 「出身（在学）学校の成績」の欄については、当該欄の記載事項と同様の成績証明書等を添付する場合には、記入を要しません。

震災特例採用申込にかかる被災状況等申立書

福島県教育委員会教育長

平成23年3月11日に発生した東日本大震災による被災状況等については下記のとおりです。

平成 年 月 日

ふりがな 申請者氏名	
学校・学年	学校・ 年

あてはまる被災状況すべての口に✓をつけ、そのうち1項目分の証明書等(写しで可)を添付してください。

震災後の転居等		<input type="checkbox"/> 転居や避難なし <input type="checkbox"/> 転居や避難あり ※異動された市町村名を順に記入↓ ① ② ③ ④	
1	自宅被害	<input type="checkbox"/> 全壊又は半壊(一部損壊は対象外) <input type="checkbox"/> その他全半壊に準ずる被災()	罹災証明書を添付
2	避難区域に指定され避難した	<input type="checkbox"/> 警戒区域又は計画的避難区域から避難	罹災証明書又は被災証明書を添付 ※特定避難勧奨地点の場合は、その旨確認できる書類を添付してください。
3		<input type="checkbox"/> 緊急時避難準備区域又はその他()から避難	
4	主たる生計維持者の死亡等	<input type="checkbox"/> 死亡 <input type="checkbox"/> 行方不明 <input type="checkbox"/> 重篤な障がい・疾病	事実を確認できる書類を添付 (戸籍謄本、死亡診断書(検案書)、医師の診断書、障害者手帳等の写し)
5	主たる生計維持者の収入の著しい減少	<input type="checkbox"/> 著しく減少し改善していない(目安50%以上の減少) 震災前の年収 ()円 ※税等控除前の額 震災後の年収 ()円 ※税等控除前の額 自営 (業種:) 自営以外 (勤務先:) 失業 (離職年月日:) 世帯全体の収入の状況	罹災又は被災証明書を添付 ※この項目だけで申請される方のみ、平成23年度～平成29年度の7年間分の所得証明書(原本)と、震災が原因の失業や収入減であることが確認できる書類も添付してください。
6	学校長が特に経済的支援を必要と認める場合の理由	上記項目以外の特記事項があれば記入してください。	

学校長証明	上記のとおり相違ありません。
	平成 年 月 日
	学校名 _____ 学校長 _____ <div style="float: right; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">印</div>

第3号様式

誓 約 書

私は、福島県奨学生として、福島県奨学資金貸与条例その他の関係規定に従い、奨学生としての本分をつくすことを誓約します。

年 月 日

本籍地

本人 現住所

氏 名

福島県教育委員会教育長 様

居 住 証 明 書

※自宅外通学申請者
のみ提出ください

下記のとおり相違ないことを証明します。

記

1 居住者の氏名

2 住居の所在地

3 居住の期間

年 月 日から現在（平成 年 月）まで

平成 年 月 日

証明者（住居の所有者又は貸主、学校寮は学校）

住所

氏名

印

自宅通学者は提出不要

居 住 証 明 書

下記のとおり相違ないことを証明します。

記

1 居住者の氏名

福島 太郎

2 住居の所在地

福島県郡山市麓山1-1コーポハマ103号室

3 居住の期間

29年4月1日から現在(平成29年〇月)まで

寮の場合は、通学している学校で証明ください。

証明者(住居の所有者又は貸主)

住所郡山市大町1-1

氏名(株)〇〇不動産

印

(注) 該当者のみ提出

特別の事情にかかる経費内訳

平成 年 月 日

福島県教育委員会教育長

(生徒名)
申請者

特別の事情にかかる経費については、下記のとおりです。

記

【該当項目】	※該当する項目の番号に○をつけてください。
1 障がい者がいる。	(該当者 分)
2 長期療養者がいる。	(該当者 分)
3 家計支持者が別居している。	
4 火災・風水害・盗難などの被害を受けた。	

(単位:円)

年・月						月計
平成 年 月						
年 月						
年 月						
年 月						
年 月						
年 月						
年 月						
年 月						
年 月						
年 月						
年 月						
領収書計						
年間推算額						

(注1)「障がい者がいる場合」：障がい者手帳のコピーを添付してください。

(注2)「長期療養者がいる場合」：病院・医師の「領収書(申込時まで6か月以上継続療養中のもの)」を添付し、年間所要見込額を推算してください。

※「障がい者がいる場合」に該当した場合は重複しての控除はできません。

(注3)「家計支持者が現在別居している場合」：表に家賃・電気・ガス等の費用項目を記入し、各々最新の数ヶ月分の領収書を添付し、年間所要見込額を推算してください。

(注4)「火災・風水害・盗難」：罹災証明書、被害届等を添付し、被害総額を推算してください。

(注5) 証明書類の添付がない場合は控除の対象になりません。

